

教育センター教育資料・図書紹介

◇ コンピュータによる教育資料・図書検索の概要

当教育センターでは教育資料・図書を昭和62年度から、コンピュータによる検索システムを開発し、例えば、各校の研究テーマに関する参考資料や関係図書を検索するなど、県下の先生方にご利用いただいております。

この検索システムの概要を紹介します。

1. 入力したデータの内容

ご存じのように、コンピュータによる検索といっても、入力した以外のデータは出力されませんから、目的・スピード等を考慮して、次の内容をデータとして入力しています。

<教育資料>

項目	資料名	発行機関名	著者等	分類1	県名	保管位置	検索番号
文字数	25文字	15文字	10文字	4文字	3文字	5文字	5文字

表2

項目	分類2	主題名	著者名	検索番号
文字数	5文字	50文字	10文字	5文字

教育資料には表1と表2の2つの表(テーブル名という)があります。

<教育図書>

表3

項目	検索番号	図書記号	書名	発行所名	保管位置
文字数	6文字	6文字	27文字	12文字	5文字

これらのデータから、必要とする項目をいろいろと組み合わせて取り出したり、主題名に同一用語を含む教育資料を調べたりできます。

また、～と(AND)、～または(OR)などによって目的とする教育資料・図書の検索ができます。次にこれらの例を示します。

2. どのような検索ができるか

① 分類

・教育資料については、「教育関係資料分類基準」によりました。この分類基準により、当センター発行の「件名目録」は分類されています。

・教育図書については、「NDC(日本十進分

類法)」によりました。

② 年(度)別による分類

教育資料・図書は発行年(度)が重要なこともあり、ある年(度)の以前・以後に発行された教育資料・図書の要求に対応できるようにもなりました。

③ キーワードによる検索

各項目毎に、その項目に含まれる「用語」について検索ができます。最新発行される教育資料・図書には、その内容の要旨を端的に表現する「キーワード」が付記されているものが多くなっています。しかし、このシステムでは利用効率等の点から、一般的なキーワードだけでなく次の例の

表1

ように汎用的に活用できるよう考慮しました。

<例>

- ・一般的なキーワード
- ・自己教育力 ・国際理解 ・研修 etc.
- ・このシステムのキーワード

- ・～ができる ・～を高める
- ・～を育成する ・～を伸ばす etc.

などの「動詞」の部分のことばでも検索できるようにしました。当然、一般的なキーワードによる検索も可能です。

④ ①～③の応用

(i) 「AND」による検索

例えば、「個性」について「算数」の分野での資料が必要なときは ～ 個性 AND 算数 などとして検索できます。

(ii) 「OR」による検索

コンピュータによる検索の原理は、文字等の比較により、等しいかどうかを調べるので、『コモ』の表現でも「子ども」「子供」の2通りがあり、この文字を含む教育資料・図書を取り出すに